2025 年 7 月 8 日
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモ石油株式会社
コスモ石油マーケティング株式会社

東京国際空港（羽田空港）における国産 SAF 供給開始記念イベントへ参加

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：髙山 直樹、以下「当社」）は、7 月 7 日に東京国際空港（以下「羽田空港」）で開催された「東京国際空港（羽田空港）国産 SAF 供給開始記念イベント」に参加しました。

本イベントは、廃食用油を原料に合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：髙田 岳志）が製造した国産 SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の羽田空港への供給開始を記念して開催されました。原料となる廃食用油は、当社グループが加盟する Fry to Fly Project と東京都が連携して回収したものです。

当社は、羽田空港における国際競争力の強化と SAF の普及を目的とした「東京都の国産 SAF 利用促進事業」において、第 1 号の採択事業者として選定されています（※1）。本イベントには、SAF の供給会社および採択事業者として、当社社長の髙山直樹が参加しました。

イベントで行われたフォトセッション
（左から）コスモ石油マーケティング株式会社代表取締役社長・髙山直樹、
全日本空輸株式会社代表取締役社長・井上慎一様、東京都知事・小池百合子様、
日揮ホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長 CEO・佐藤雅之様、
日本航空株式会社取締役会長・赤坂裕二様

コスモエネルギーグループは、「2050 年カーボンネットゼロ」をめざし、日本初の国産 SAF 供給に向けてサプライチェーン構築を進めてまいりました。また、SAF の原料となる廃食用油の再利用を目的に、サービスステーションでの市民回収実証を継続的に展開するなど、社会全体での理解促進と機運醸成にも取り組んでいます。今後も、脱炭素化や循環型社会の実現を重要なテーマと認識し、社会的課題の解決と企業の持続的発展をめざすとともに、引き続き航空輸送における SAF 利用を推進し、資源循環とサステナブル社会の実現に貢献してまいります。

SAF 製造装置（コスモ石油堺製油所内）
（提供：合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY）

このたび供給した SAF は、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業として採択され（※2）取り組んできたものであり、国内で初めて大規模生産される国産 SAF です。持続可能な製品の国際的な認証制度「ISCC CORSIA 認証」「ISCC EU 認証」を取得しており（※3）、環境価値が証明されています。コスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也）の 3 社により設立された合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY が製造し、2025 年度よりコスモエネルギーグループを通じて航空各社に供給しています。

※1　2025 年 5 月 9 日プレスリリース
https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2025/250509-01.html
※2　NEDO ウェブサイト　https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html
※3　2024 年 12 月 13 日プレスリリース
https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/241213-01.html

以上